

# 平成23年度 第5回運営会議ニュース

日 時	平成23年9月11日(日)13:30～16:00会議
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター レクチャールーム
出 席 者	15名

## 議題

### (1)各ゾーンエリアの管理状況について

運営会議専門委員からビオトープ研修による活動状況について以下の報告があった。

- ・湿生生態園のヨシ刈りを行っているが、その成果もあり、アカバナやミゾソバ等の他の湿生植物を維持できている。キショウブは根茎で増えるので根から除去しているが、5～6月の開花期は避けている。
- ・湿生生態園の周囲が高木化して日かげが増え、ヤブランやヤマグワなどが進出してきたので、除草と枝切り作業を行った。周辺の樹林を4～5m刈り戻して林縁環境を回復させる作業を少しずつ行うべき。
- ・2月に行った皆伐の区域のモニタリングを行っている。切株からの萌芽は順調であるが、林床にニセアカシアやカラスザンショウが繁茂してきており、今後の研修会の中で下刈りや詳しい萌芽状況調査等をしていく。

(運営会議委員の意見)

- ・長年観察していたヒメコウゾが切られてしまった、作業する前には会議で検討してからにして欲しい。
- ・里山の管理上、進出してきた低木を刈り取るのは当然だし、前もって保護の表示をしていない木を、切ってしまうから文句を言うのはおかしいのでは。

(決定事項)

次回の会議で、樹木を含めた湿生生態園の管理方法について、植栽図等を参考にしながら討議する。

## その他報告事項など

### ○座間のホタルを守る会

- ・7～8月の暑い時期の作業は行わなかった。
- ・9月からは、湿生園北側の水路周辺とカエル沼周辺の草刈りを行っている。
- ・カエル2号沼と出口水路が泥で埋まる傾向があるので、泥上げや水路を板で護岸するなどしたい。

### ○谷戸山写楽会

- ・10月1日～10日までパークセンターで「谷戸山写真展」を開催する。
- ・水鳥の池に水鳥がいないが、それは池周りの草刈りを7月に行ったからではないか。5月後半～6月上旬には行って欲しい。→(公園) 来年はその時期に行きたい。
- ・40cmくらいのスッポンが2匹池にいた。
- ・伝説の丘東側のツルニンジン(トウモロコシ)の茎が誰かに切られてしまった。

### ○グリーントフ

7月のチョウ観察会と8月のセミのぬけがら探しは、両方とも好評だった。チョウは森林性のチョウが多かった。セミのぬけがらは伝説の丘で多く観察できた。

### ○座間市に緑を育てる市民の会

8月にやとやま講座との共催で「昆虫ウォッチング」を開催した。野鳥の原っぱでショウリョウバッタ、南口広場でアカトンボを多く観察でき、参加者にも好評だった。

### ○ぼらぼら

10月22日にわきみずの谷の植生調査を行い、ぼらぼらの新たなプロジェクトを検討したい。

### ○公園事務所

- ・防災井戸ポンプと湧水ポンプが老朽化しており改修予定。防災井戸ポンプは今年度の予算。
- ・要望のあったログハウスへの網戸設置を完了した。

- ・南谷戸でアライグマの足跡が見つかり、市に依頼して捕獲オリを設置したが捕まらなかった。
- ・水鳥の池の4つある島の草刈りについて意見を聞いた→一部刈り残した方がよいとの意見もあり、後日委員より意見を出してもらうことにした。
- ・野鳥の原っぱの除草は昆虫の森側を600㎡残し、冬越しする昆虫に配慮する→OK
- ・体験館近くのケヤキの大木の根本にサルノコシカケが生えており、樹木医による診断をした。その結果、幹に異常はないが、根の表面が多少腐っている様子もあり、緊急性は無いが見守る必要がある。  
(運営会議委員の意見)サルノコシカケは積極的に木を枯らす菌なので状態は良くないのでは。木を残している歴史的な背景があるらしいので、地元の関係者に聞いてみては。

◎次回例会では公園施設に関する県土木事務所への要望事項がいくつかあるので提案検討する。

次	回	10月9日(日) 13:30~16:00	ログハウスで開催する。
---	---	----------------------	-------------